



EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。7



第35回定例セミナー： 性的マイノリティを包摂 する学校空間づくりに 関するワークショップ を開催しました



活動日時 2020年2月26日(水)

活動従事者 岩田昌太郎, 川口広美, 森田愛子, 吉田成章
白石愛(M2:体育科教育学), 村田一郎(B4:社会科教育学), 高藤真作(D3:心理学),
櫻井瀬里奈(M1:教育学), 董星宇(M1:心理学), 清末有紀(M1:心理学)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター(EVRI)」は、2020年2月26日(水)に学習空間研究ユニットの活動に関連して、第35回定例セミナー「学校の「普通」はだれにとっての「普通」なのかー性的マイノリティを排除しない学校空間を目指してー」を開催しました。なお、学生が主体となって実施した本セミナーの参加者は約60名に上り、テーマへの関心の高さが伺えました。

第1部では、当事者の体験談を読み、学校教育の「普通」が排除するものについて議論しました。第2部では、性の多様性に関する基礎知識や学校教育の「普通」を見直すことの意義について、情報提供がなされました。第3部では、「よ

りよい学校空間を創る」ことについて、参加者全体で検討していきました。最後に、司会を務めた村田さんが「学校には多様な人がいることを意識し、教育に携わる人が、自分にとっての「普通」がだれかを排除しているのではないかとこの可能性を考え続けることが重要なのではないのでしょうか」と呼びかけました。

本セミナーを通して、様々な立場の参加者と共に、性的マイノリティを基軸としながら、学校の中にある「普通」を問い直し、子どもの多様性と大人の寛容性を探ることができました。

EVRIでは、引き続き、提案されたセミナーの内容を踏まえて、多様な人とのつながりを創造できるように取り組んでまいります。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター(EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

